

国際P2M学会春季大会
P2Mで語る地域活性化と環境問題

2024年4月21日

多様な手法・プロジェクトを用いた
環境科学コミュニケーション
アプローチ
～葉山町での取り組み～

公益財団法人 地球環境戦略研究機関（IGES）
気候変動とエネルギー領域
研究マネージャー
金 振

私の履歴書

- 1999年、中国東北師範大学卒業（漢言語文学教育）
- 2000年4月、来日（法学部）
- 2009年3月、京都大学(法学博士取得)
- 2009年6月、電力中央研究所で社会人一年生に
- 2012年4月、IGES
- 2014年4月、一度IGESを離れ、科学技術振興機構（JST）に
- 2017年5月、IGESに再び～

主な研究分野、研究活動

◆ 2000年～2009年：行政法学

- 博論：申請権の法的理論構造（分野は都市計画と社会保障）

◆ 2009年～2018年：比較行政法学理論およびマクロ経済・産業データに基づく日中韓・環境政策研究

- ・ 省エネ政策
- ・ 大気汚染政策
- ・ 交通政策（電気自動車）
- ・ 再エネ政策
- ・ 排出量取引制度（ETS）

◆ 2018年以降～2023年：非常勤講師

- 上智大学（1コマ）
- 東北大学・博士課程 環境文明論・集中講座（12コマ～15コマ）

◆ 2019年以降：GISに基づく定量分析

- ・ エネルギー資源論
- ・ 脱炭素都市戦略
- ・ 再エネ戦略
- ・ 水素戦略

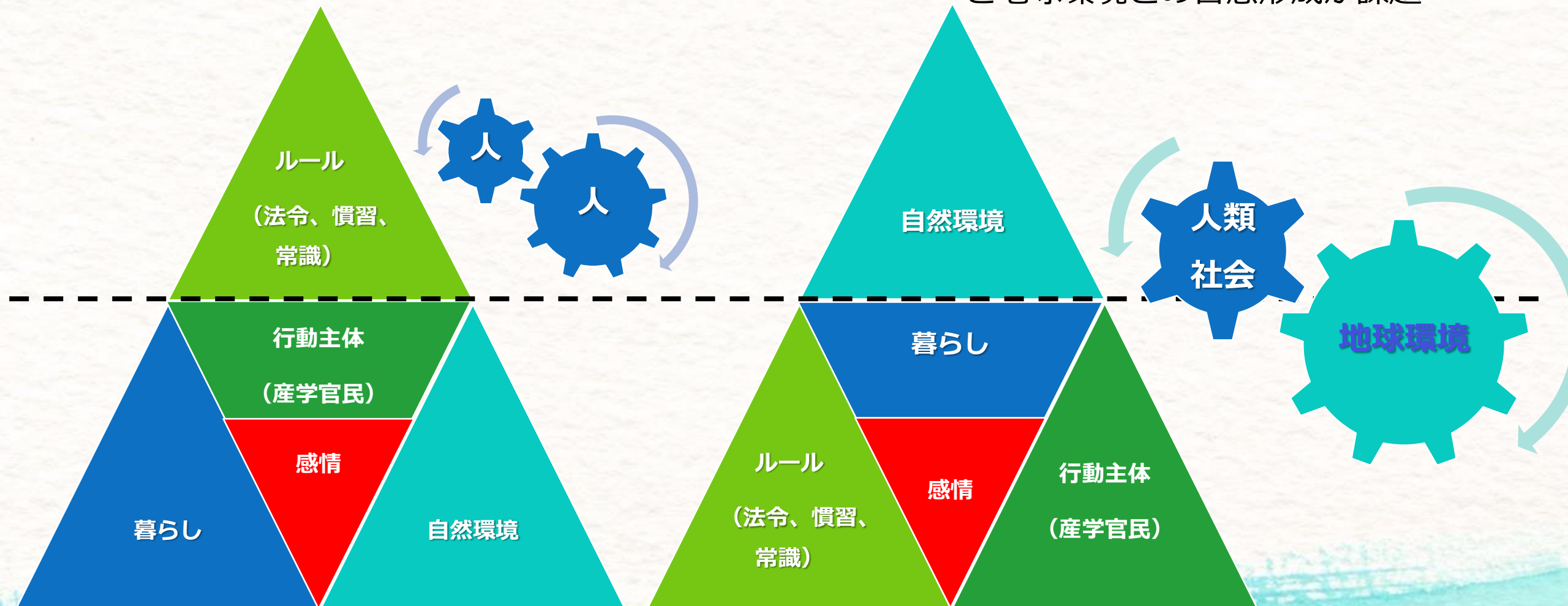
◆ 2022年以降：環境モニタリング実証研究（データの見える化）

- ・ 森林測量方法論
- ・ グリーンカーボン測量方法論
- ・ ブルーカーボン測量方法論

求められる人類社会と地球環境との“合意形成”

◆従前の関係：人類同士の合意形成を優先

◆地球環境危機に直面した今、人類と地球環境との合意形成が課題



地球が、自然が意識のある生命体と仮定すると？

- ◆自然と「対話」を知るための「ことば」の開発が必要では？
- ◆自然の「体調」を調べるための「健康診断法」の開発（自然の人間ドック版）が必要では？
- ◆自然と人間の「共存共栄」を実現するための「総合モニタリング体制」、「スマートなデータベース」、「シミュレーションツール」の整備が必要では？



葉山町での取り組み



葉山町地球温暖化対策実行計画
(区域施策編) 策定支援事業

業務成果報告書

令和6年1月25日

公益財団法人 地球環境戦略研究機関

注：本事業は（一社）地域循環共生社会連携協会から交付された環境省補助事業である令和4年度（第2次補正予算）二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業）により作成された。

葉山町脱炭素戦略への貢献

循環型
経済形
成

地球環境・郷土愛
をモチーフにした
SF舞台劇

感性で地
球環境を
理解する

市民・環境団体が
集うプラット
フォーム
(フリースペース
の提供を要請中)

モニタリ
ング体制
構築

産学によるコン
ソーシアムの構築
(IGES & 4企業)

葉山町GISデータ
ベースの構築

長者ヶ崎海岸を対
象とした海洋測量
実証研究

市民ワークショップ形式で舞台をつくる～
シナリオ、舞台制作、広報戦略、...

小学生、中学生、市民役者のための
トレーニングプログラムの提供

興味があればだれでも参加できる
プラットフォームづくり

プロデューサー、原案、脚本、総合演出
金振（地球環境科学者）

